

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、17～23℃台を示し、やや低め～平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網——西彼地区では、カタクチイワシなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週の3.3倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジが1日1統当たり2トンの水揚げで前週並み（前年並み）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり1.6トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。橘湾地区では、カタクチイワシが1日1統当たり7トンの水揚げで、前週の1.4倍。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり65kgの水揚げで、前週の3.3倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり2.6トンの水揚げで、前週の1.7倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり46kgの水揚げで前週の2.2倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり647kgの水揚げで、前週の3.6倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり6kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- 定置網——対馬西岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり177kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり214kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、イサキが1日当たり34kgの水揚げで、前週の71%（前年を下回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり12kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（5/20～5/25の6日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚休漁。赤イカは太平洋で操業。沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～能登半島にかけて出漁した。

鳥取県西部（沖合船）2日延8隻、総計193箱、1航海最高40箱、平均24.1箱。スルメイカを中心に漁獲、魚体は20～40入・バラ主体。今期も山口沖～浜田沖～隠岐海峡～鳥取沖～能登半島に漁場を形成した。主漁場は山口沖、浜田沖、隠岐海峡となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧ください。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>